

県立広島大学教員活動情報

所属学部等	生命環境学部	環境科学科	専攻	生命システム科学専攻
職氏名	教授	加藤一生		
専門分野	物理学	放射線科学		

1. 教育活動 (平成19年度)

(1)担当科目(学部)	物理学 卒業論文	物理学 卒業研究	放射線計測学 量子物理学	物理学実験
(大学院)				
(2)教育関係 特記事項	保健福祉大学開講の量子物理学は従来は3年次開講だったが4年次開講に変更された。間近に控えている診療放射線技師国家試験に関わりの深い内容に関する授業を行うことによって十分な学習意欲を引き出すことができ理解も深まったと思われる。物理学 ならびに にはそれぞれ14回のレポート提出を求めることで説明不足な箇所を把握し授業内容の充実に役立てることができた。			

2. 研究活動 (平成17～19年度)

(1)論文等	The Hiroshima thermal neutron discrepancy for ³⁶ Cl at large distances. Part I: New ³⁶ Cl measurements in granite samples exposed to A-bomb neutrons. Radiat. Environ. Biophys. 44 (2005) 75-86.	平成17年
	The Hiroshima thermal neutron discrepancy for ³⁶ Cl at large distances. Part II: Natural in situ production as a source. Radiat. Environ. Biophys. 44 (2005) 87-96.	平成17年
	Trace element concentrations in granite and their impact on thermal neutron activation. In "Reassessment of the atomic bomb radiation dosimetry for Hiroshima and Nagasaki. Dosimetry System 2002" (edited by Young R.W. and Kerr G.D.), Radiation Effects Research Foundation (2005) 737-745.	平成17年12月
	Measurements of fast neutrons in Hiroshima by use of ³⁹ Ar. Radiat. Environ. Biophys. 44 (2006) 261-271.	平成18年
	Estimation of LINAC X-ray fluence rate in a high-energy region using activation detectors. Journal of the Faculty of Health and Welfare, Prefectural University of Hiroshima, Humanity and Science 7 (2007) 43-49.	平成19年3月
(2)著書	はじめての物理学 (県立広島大学教科書) 大学教育出版 ISBN4-88730-689-X	平成18年4月
(3)学会発表等	「治療用高エネルギー電子線加速器から放出される中性子平均エネルギーの測定」 第1回日本放射線防護研究会	平成19年5月
(4)工業所有権等		
(5)外部資金採択状況	科学研究費補助金 (代表)	件
	科学研究費補助金 (分担)	件
	その他外部資金	件
(6)研究関係 特記事項		

3. 地域貢献活動 (平成19年度)

(1)審議会等委員		
(2)公開講座等	高大連携公開講座 県立広島大学公開講座	「画像診断用機器について～CT, MRIからPETまで～」8月7日 「わくわく理科体験教室」8月22日
(3)地域貢献 特記事項		

4. 大学運営活動 (平成19年度)

(1)学内委員等	学術情報センター三原キャンパス運営委員会	教務委員会
(2)大学運営 特記事項	三原キャンパスにおけるオープンキャンパスでは庄原キャンパスのブースならびに施設紹介 (治療用電子線直線加速器) を担当し, 庄原キャンパスにおけるオープンキャンパスでは研究室開放を担当。	

以上は、主要な活動について掲載しています。